

第51卷 第1号

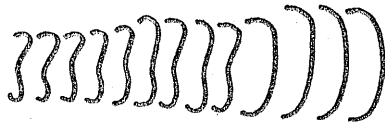
(通卷第575号)

Vol. 51 No. 1

# 植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和51年1月 January 1976



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和二十六年四月十三日  
昭和五十一年一月二十五日印刷  
昭和五十一年一月二十日発行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日発行)

## 目 次

木村有香：ネコヤナギとユビソヤナギ間の新雑種	1
原 寛：東部ヒマラヤ植物新知見 (17)	7
L. L. ナラヤナ・D. ラオ：Humiriaceae の花部解剖学的研究 4	12
岡田 稔：クロウメモドキ属の生薬学的研究 (2)	16
小林義雄：南方コレクションの寄菌ハドリアススタケに就て	24
雑 録	
川谷豊彦・佐藤克二：エキサイゼリの染色体数...6—浅井康宏：外来のアキノ キリンソウ属植物と花粉症との関係...27—山崎 敬：ツツジ類の自然交配種 ...29	
新 刊	23, 32

## Contents

Arika KIMURA: Nova hybrida inter <i>Salicem gracilistylam</i> Miquel et S. <i>Hukaoanam</i> Kimura	1
Hiroshi HARA: New or noteworthy flowering plants from Eastern Himalaya (17)	7
L. L. NARAYANA & Digamber RAO: Contributions to the floral anatomy of Humiriaceae 4	12
Minoru OKADA: Pharmacognostical studies on some species of the genus <i>Rhamnus</i> (2)	16
Yosio KOBAYASI: On <i>Phallus Hadriani</i> preserved in the Minakata collection	24
Miscellaneous	
Toyohiko KAWATANI & Katsuji SATO: Chromosome number of <i>Apo-</i> <i>dicarpum ikenoi</i> Makino...6—Yasuhiro ASAI: The <i>Solidago</i> species thus far naturalized in Japan hardly cause pollinosis...27—Takasi YAMAZAKI: New natural hybrids of <i>Rhododendron</i> (§ Tsutsutsi) in Japan...29	
Book review	23, 32

[表紙カットの説明] シダの胞子の分裂直後から成熟までの間の形態変化の一例。トウゴクシダの胞子の横断面観において条溝のある側の形だけを連続的にトレースしたもので、左から右へと發育している。日本植物学会 50 年大会で倉本嗣王氏が発表したスライドによる。(伊藤 洋)

[Explanation of the cut on the cover] Successively traced developing centripetal margins in the profile view of a monolete fern spore, *Dryopteris erythrosora* var. *dilatata*. Adopted from Dr. T. Kuramoto's presentation. (H. Ito)

## 投 稿 規 定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴り、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交り、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
  - a. 希望される別冊の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
  - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
  - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 〒182 東京都狛江市和泉 1421, 津村研究所, 佐々木一郎あてのこと。

## 編 集 員

### Members of Editorial Board

原 寛 (Hiroshi HARA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	久内清孝 (Kiyotaka HISAUCHI)
井上浩 (Hiroshi INOUE)	伊藤洋 (Hirosi ITO)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川 遣 (Syo KUROKAWA)
前川文夫 (Fumio MAEKAWA)	大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)
佐々木一郎 (Ichiro SASAKI)	津山 尚 (Takasi TUYAMA)
山崎 敬 (Takasi YAMAZAKI)	

### 代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号 1部 350 円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分 4,000 円。(送料別)。
- 3) 代金払込は, 〒182 東京都狛江市和泉 1421 津村研究所 (振替東京 8-1680) へてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rate: 5,500 yen including postage.

All communications to be addressed to the Editor

**Ichiro Sasaki**

Tsumura Laboratory, 1421, Izumi, Komae-shi, Tokyo, Japan

昭和 51 年 1 月 15 日 印刷

昭和 51 年 1 月 20 日 発行

編集兼発行 佐々木一郎

印刷者 富田 潔

東京都練馬区豊玉北 2ノ13

印刷所 学術図書印刷株式会社

東京都練馬区豊玉北 2ノ13

電話 (991) 3754 番

発行所 津村研究所

東京都狛江市和泉 1421

(振替 東京 8-1680)

電話 (489) 4158 番

定 価 350 円

不 許 複 製